

## 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大学生等対象 オンラインを活用した企業の採用支援事業
事業主体 (連絡先)	伊那職業安定協会 伊那市中央4605-8
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,670,000円 (うち支援金: 2,136,000円)

### 事業内容

オンラインや地上波を活用した企業紹介を行った。

- ①地元ケーブルテレビ3社による企業紹介番組の作成・放送  
実施時期: 12月13日～17日/再放送1月1日～5日  
内容: 地元企業の紹介(30社程度)、人事担当者による座談会  
媒体: 地元ケーブルテレビ3社の放送45分×5日間、YouTube  
対象: 大学3年生以下の学生、お子さんを持つご家族  
YouTube再生回数: 2053回
- ②オンライン企業説明会の実施(制作・配信)  
実施時期: 12月6日～10日  
内容: 地元企業(31社)の担当者による自社説明  
学生と企業の質疑応答  
媒体: ビデオ会議システム3時間×5日間

### 事業効果

緊急事態宣言発出など、大都市圏と往来の難しい状況に陥ったが、学生に地元回帰の志向が生まれた。

①地元ケーブルテレビ3社による企業紹介番組の作成・放送  
YouTube再生回数: 2053回、放送は上記の予定通り

②オンライン企業説明会の実施(制作・配信)  
大学3年生以下の学生(16人参加 延べ90回参加)  
想定した目標に達しなかった。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本事業によって人口減少をまざまざと実感しました。今後は、新卒学生だけではなく、上伊那地域として若者人材を呼び戻す活動が必要であるとの認識となり、伊那市、上伊那広域連合とともに、①地域外からの移住者(Iターン)、②いったん都会に出て戻って来る人(Iターン)の導線を太くするなどの体制づくりを行うための協議を始めた。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【「かみいなではたらく」を知る  
テレビ放送の様子】

#### 【目標・ねらい】

- ① コロナで大都市圏との往来ができなくなっても学生が地元企業を知ることができる
- ② 求人難の企業の採用支援

#### ※自己評価【B】

##### 【理由】

地元としてオンライン、地上波を最大限に活用したものの、求人倍率の高さに比例して、参加者数が少なくなった。